

事務事業評価表

平成13年度	主要事業計画対象の有無	有	電話	042 (769) 8240
担当部課名	環境保全部	環境対策	課	
事務事業名	自然環境観察員経費		事業コード	21110

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	人と自然にやさしい地域社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第1節	地球環境の保全に向けた取り組み	13
施策名	第1施策	総合的な環境施策の推進	年度

2 実施根拠及び関連法令等

相模原市環境基本条例、相模原市環境基本計画

3 事業概要

(1) 事業の目的	(2) 対象(誰、何)
市民が自然環境観察員として、市の自然をボランティアで調査し、環境に関する意識を高め、自然環境を保全していく。	市内に生息する動植物等
	対象数
(3) 平成13年度事業の内容	(4) 総合計画・実施計画における概要
ツバメの巣分布調査 1回 テントウムシ分布調査 1回 セイタカアワダチソウ分布調査 1回 この他、説明会、環境学習セミナーを開催 平成13年度相模原市自然環境観察員制度年次報告書を作成	なし
	(5) 個別計画の概要
	計画名 相模原市環境基本計画
	計画年次 13年度～年度
	自然環境観察員制度を推進します。

4 評価指標

指標名	市内におけるツバメの巣の分布率	市内におけるテントウムシの分布率	市内におけるセイタカアワダチソウの分布率
指標式	ツバメの巣確認地点数179/調査地点数374×100	テントウムシ確認地点数143/調査地点数268×100	セイタカアワダチソウ確認地点数245/調査地点数304×100
指標設定の意図	ツバメの巣の確認により市域の自然環境の状況を把握する。	テントウムシの確認により市域の自然環境の状況を把握する。	セイタカアワダチソウの確認により市域の帰化植物の状況を把握する。

5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標			a 48	b 100	100
指標			c 53	d 100	100
指標			e 81	f 100	100
事業費	決算(予算)額		3,473	3,550	3,127
	人員・時間数		300時間	300時間	300時間
	人件費		1,254	1,254	1,254
	その他経費				
合計	0	0	4,727	4,804	4,381
特定財源					

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 B ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 60.6%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%>)		
$\frac{a}{b}$	$\frac{47.9}{100.0} \times 100 = 47.9\%$	$\frac{c}{d}$	$\frac{53.4}{100.0} \times 100 = 53.4\%$
		$\frac{e}{f}$	$\frac{80.6}{100.0} \times 100 = 80.6\%$
理由 :	都市化が進んでいる中で、動植物の生息環境がどういった地点にどのくらいあるのかを調査したもので、達成度の評価にはなじまないと考えられる。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	都市化が進行する中で、市内の自然を市民がボランティアで調査するものであり、時代の変化に的確に対応している。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A : 妥当である	理由 :	経費は、自然環境観察員調査結果作成業務委託、観察員への調査用消耗品、人件費に係るもので、全体的にみて妥当であると考ええる。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	市域の自然を市民自らが調査するもので、代替の可能性はない。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 A ▼	A : 満足できる	理由 :	自然環境観察員は市民がボランティアで活動しているものであり、経験の有無等によって意見は様々だが、全体的に満足を得られている。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	個々の調査を積み重ね、多角的に分析することによって、相模原市の自然環境の保全と創造を推進していく上で有効である。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 : 観察員の中からリーダーを養成することにより、市民の主体的な自然環境調査が可能になる。</p>
	<p>コスト改善余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 : 企画段階から観察員が主体的に参加する制度の運営を目指すとともに、コンサルタントへの委託を廃止する。</p>

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	
今後の進め方		説明	本事業は環境基本計画に基づき、平成13年度から始めた事業であり、業務の委託は、15年度から廃止する方向であるが、市民参加による自然環境観察員制度の運営は継続して支援していく。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--